



# おおつぼ 和弥

1975年9月生まれ。  
《経歴》京都府立北陵高卒業／大阪教育大学卒業／大阪教育大学院大学修了／大阪維新の会 青野よしあき府議会議員秘書／大阪維新の会 設立初期裏方メンバー

## 政務活動費0円からの見直しについて

大阪維新の会の挑戦の1つに議会改革があります。今、東大阪市で問題となっている政務活動費。  
議員32人、計3883万円が不適切処理と指摘されました。一部の会派は、東大阪市から刑事告訴される事態にまで発展しています。納税者目線に立てば、市議会に対する信頼低下は当然です。

**政務活動費月額15万円を0円ベースで見直します。これは、中核市以上においては全国初の挑戦です。**

## 東大阪市政について語ります。

### 議員定数の2割の削減について

「身を切る改革」を掲げる大阪維新の会。  
大阪府議会では徹底した「身を切る改革」を実行してきました。  
東大阪市議会でも、人口減少が進む中、少数精鋭のコンパクトな議会を目指して議員定数を38名から30名への2割削減の実現に向け、改革集団として、力強く取り組んでまいります。

### 中学校給食の実現について

「なぜか東大阪市は給食実施を見送り」  
大阪府内の中学校で給食の実施または実施予定が無いのは東大阪市だけなのです！  
大阪府から予算が出ていたのにもかかわらず見送られたのです。実施校の保護者の皆様からは「助かる」「嬉しい」「栄養バランスに期待」などの声が上がっています。  
大阪維新の会では、東大阪市における学校給食実現に向けて、保護者の皆様とともに、今後も様々な角度から取り組んでまいります。

### 人材育成について

大阪府の成長戦略と連動し、世界とつながる東大阪の経済発展を目指します。  
また、グローバルな視点を持ちしっかりと世界に立ち向かう人材育成に力を注ぎます。

## 馴れ合いもたれ合いの議会を改革します。

大阪維新の会は、納税者目線で徹底的に東大阪市の改革を行い、次世代に豊かな東大阪を引き継ぎます。



# 身を切る改革。 維新だからできる。

大阪維新の会 東大阪市 市政対策委員会

おおつぼ 和弥 さん

東大阪の改革について語ります。

東大阪市議会でも大きな問題となっている、政務活動費の不適切な支出問題。「返せば終わりなのか?」「書類上の体裁が整えば問題無しなのか?」市民の税金なのに、その使い方に説明責任を全く果たさない議会は、納税者目線から大きくかけ離れています。

大阪維新の会の改革の柱—議会自らの改革—

本号外では、おおつぼ 和弥さんが東大阪市の議会改革を語ります。



## 維新だからできる 東大阪のまちづくり



### 1. 大阪モノレール延伸事業化決定

- 平成30年度をめどに事業着手に向け、事業化決定しました。
- 大阪成長戦略を支える経済インフラ。  
主要4路線の一つに位置づけ、平成25・26年に続き27年度も調査費が予算化され具体的に動き出しています。



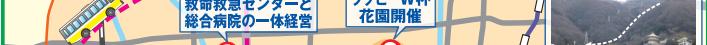
### 2. おおさか東線（放出→新大阪）

- 平成30年度末開業。東大阪と新大阪がダイレクトにつながります。
- 衣摺新駅（仮称）も、平成25年から事業着手。



### 3. 大阪の物流拠点、トラックターミナル再整備

- 府の外郭団体・大阪都市開発株式会社の民営化の実現により、関空、大阪港から世界とダイレクトにつながる、高度な機能を持つ物流拠点として再整備されます。



### 4. 大阪瓢箪山線の整備

- 大阪瓢箪山線、東花園駅から外環状道路までの0.8kmの事業化に向け、平成26年度道路予備設計。
- 事業認可へ向けたスケジュールが動いています。



### 5. 瓜生堂・八戸ノ里駅北交差点改良

- 近鉄奈良線沿いの都市計画道路。現在、中央環状線で分断されている瓜生堂交差点改良の検討を平成27年度にスタート。
- 八戸ノ里北側交差点の慢性的な交通渋滞の緩和に向け、南行き右折レーン、直進左折レーンの整備を平成33年の完成を目標に、現在、測量作業等に着手しています。



### 6. ゲリラ豪雨に対する新たな浸水対策強化

- 中央環状線の地下増幅幹線（約1,200ha）平成25年整備着工。
- 高井田、森内地域・布施公園調節池の整備も平成27年度に設計着手。
- 東大阪市北東地域は、大阪府・東大阪市が連携事業として浸水対策計画を進めています。



### 7. 東大阪市初のメガソーラー発電設置しました

- 池島地区恩智川治水緑地の府有地を活用し、太陽光発電事業を平成27年6月からスタートしました。年間発電量約329万kWh（約910世帯分の年間消費量）災害時等に非常用電源として活用もされます。
- 大阪府のグリーンニューディール基金を活用し、花園中央公園内のドリーム21に、太陽光パネル、蓄電池設備を設置。小阪中学校にも今年度設置されます。



### 8. 府立中河内救命救急センターと東大阪市立総合病院の一体的運営へ

- 平成21年から続く取り組みも、一昨年松井知事と東大阪市長が府市の方針を一致させ、救命救急センターとの一体的運営に向けた具体的な検討を進めています。



## 橋下・松井府政で維新が推進しました！

### 今年度も私立高校授業料実質無償化 予算219億円

この制度は、橋下・松井府政において維新府議団が両知事とともに、全国に先駆けて実施してきたものです。導入後は、私立高校への進学者の割合が増加しました。また、家庭の所得分布において中所得者の割合が増加しています。さらに、中退率が減少するなど、はっきりと効果があらわれています。

### 府立高校「学区撤廃」を昨年度から実施

平成26年度入試から学区撤廃によって府内全域から受験先を選べるようになりました。学区撤廃は、受験生目線でみれば至極当然のことです。議会や教委などで当初、反対または慎重な意見がありました。生徒数の減少や交通網の変化、そして学校選択幅の拡張などから、学区制度の廃止は全国的な動きになっているのです。今後、当然府民から評価され定着します。

## 大阪維新の会 東大阪での挑戦！見える議会。見える税の使い方。

有権者の中から選ばれた人で構成される議会。その議会で行われていることが、有権者から見えにくくなっているのではないか？見えにくいから、今回の政務活動費の不適切な支出問題へと発展し、しっかりとした説明がなされないまま返還され、うやむやのまま幕引きがされようとしています。

議会で何が行われ、誰がどのような賛否をしているのかを明確にしましょう！

そして、税が何にどのように使われたのか、しっかりと説明出来るチェック機構を再構築しませんか？

これらを成し遂げられるのは、大阪維新の会だけです！

そして実績を持っているのも、大阪維新の会だけです！



東大阪市 市政対策委員 おおつぼ 和弥